

2012年、新年が始まりました。3年生は高校生活のまとめの時期、2年生・1年生は1年間の学習を深化させて進級の準備をしていく時期です。1年の中で一番寒い時期「寒の季節」、農場でも冬の作業や春の準備を進めています。

【 栽培実習 】 ○みそ造り



米こうじづくり

ダイズの仕込み

寒の時期となり、みその仕込みが始まりました。今年、本校で生産した米240kg、地元産の白大豆240kgを原材料に約600kgのみそをつくる予定です。1月13日から4回に分けてみその仕込みを進めてきました。こうじのでき方を観察し、ダイズを蒸してみそに仕込んでいきます。本校のみそは、米とダイズ、こうじ菌と塩だけを原材料としています。米こうじはこうじ菌を蒸し上がった米に混ぜ込み約48時間後に出来上がります。そして、今仕込んだみそは秋まで熟成させます。12月に行われるシクラメン祭で販売をします。また、食品製造を学習する上で、服装の整備、農産加工室や器具の衛生管理について食品衛生の実際を学びます。

水田裏作 本校では水田の裏作としてコムギとタマネギの栽培をしています。

栽培面積はコムギ、タマネギともに4aです。また、ニンニクとソラマメも20㎡ほど作付けをしています。

○コムギの栽培

1月19日、2年生は、コムギの管理作業として麦踏みを行いました。現在草丈は8cmほど、麦踏みは麦の芽を足で踏んで行く作業ですが、霜柱によって浮き上がった土を押さえ、麦の不必要な生長をおさえ、根張りをよくするために行うものです。



麦踏み

今後、3月下旬に追肥や土寄せを行います。

○タマネギの栽培

1月末現在タマネギの葉は5枚目が3cmほど伸びています。寒さのため葉先がやや枯れていますが順調に生育をしています。これから1週間ごとに生育調査を行います。寒い時期にも確実に生育が進んでいきます。葉の伸びと色、茎の太さの観察



生育調査

を続けていきます。今後、2月上旬と3月下旬に追肥をします。

【 飼育実習 】 ○岡山ミート見学



1月20日(金)2年生飼育類型19人は、(株)岡山ミート(瀬戸町万富)で見学実習を行いました。この企業は牛の肥育経営と食肉処理による食肉の流通・販売を行っています。この日は、牛の飼育の様子を見学し、枝肉となった牛肉の等級や肉の部位の品質について学習をしました。1牛舎500頭の牛を3人で飼育管理していること、250~300kgの枝肉を1日30本食肉処理していることなど説明を受けました。

○ふれあい動物交流 ~ミニブタも登場~



1月12日(木)、本年度最後のふれあい動物交流が行われました。この日は、瀬戸桜保育園の園児30名が訪れ、11時から約1時間、動物とのふれあいを楽しみました。3年生飼育類型20人は、これまでの交流活動で学んだことを基に、楽しい雰囲気作りやわかりやすい説明、そして、動物とふれあうことの楽しさを伝えることが出来ました。来年度に向けて交流活動を2年生がしっかりと引き継いでいます。

○4つ星子牛を目指して飼育に取り組む



3年生飼育類型4人(西村 廣田 小林 矢尾)は、本年度生まれた子牛5頭を人工ほ乳により4つ星子牛を目指して飼育に取り組みました。4つ星子牛とは岡山県が定めた大きさの基準で、体高、胸囲、

腹囲のバランスのとれた体格を有する子牛をさします。1月27日、去勢牛1頭(名号:安村林菊龍拓)を岡山県総合家畜市場に出荷しました。今回は、体高125.5cm、胸囲162cm、腹囲185cmと基準値は超えているものの体格が大きすぎて4つ星子牛にはなりません。今後、4頭が次々に出荷時期を迎えます。2年生に課題を引き継ぎ、優良子牛を目指した飼育が続きます。

課題研究発表会

1月18日(水)、3年生(40人)の課題研究発表会がありました。栽培類型から4題、飼育類型から5題の発表があり、1学期から取り組んできたそれぞれの研究テーマについて、内容や成果の報告がありました。参加した2年生にとって、来年度の課題研究の設定テーマの参考とすることができました

テーマ：農業機械の知識・技術を身につけよう



刈り払い機や動力噴霧器のエンジンのメンテナンスを学び、水田の畦の草刈りに取り組んだ。また、アーク溶接の技術を学び、鋼材を切ったり溶接したりすることで育苗箱の運搬棚を製作した。製作を通じて機械や工具の安全で正しい使い方について学んだ。(赤井 霜門 田中 豊福 西崎)

テーマ：野菜を作っておいしく食べよう ～ヤーコンの栽培とおいしさ紹介～



野菜作りに取り組んだ中からヤーコンの栽培について発表した。1株当たり3kgの塊根が収穫できた。ヤーコンは収穫して1ヶ月ほど経過するとフラクトオリゴ糖の甘味が増すこと、サラダやきんぴらにするとおいしく食べることが出来ることを紹介した。(東 有吉 木下 的場 山田)

テーマ：グリーンガーデン ～野菜の栽培から活用まで～



ハーブやレタスなどの葉菜類や食用菊の栽培に取り組んだ。栽培管理の大変さや野菜の栄養について学び、野菜の特性を活かした調理方法について研究した。特に食用菊は菊飯とし、色合いや味についても好評であった。

(入江 木本 谷川 津和崎 畑中 森本)

テーマ：ナタネによる環境に優しい米作りの研究 ～瀬戸地区における朝日米の有機無農薬栽培の確立～



ナタネを使った有機無農薬栽培について報告した。4年目の継続研究であり今年も10a当たり656kgの玄米収量であった。特に収量構成要素の1㎡当たり穂数が目標値の86%であったので穂数を増加させることが今後の課題であると考察した。(出原 國塩 景山 中村)

テーマ：ふれあい動物園の充実



(井上 葛原 久保 坂口)

豚小屋作りをしたこと、遊具や柵にペイントして園内をきれいに整備したこと、パイプを組みシートを張り日陰作りをしたことなどを紹介した。これらは、ふれあい動物交流をより円滑に出来るよう改善点を具体化した活動を報告した。

テーマ：アイガモの研究



アイガモを増やしたいという動機から人工孵化に挑戦した。孵卵器の特性を学び孵卵器を製作した。温度や湿度を調整することが難しく、人工孵化には失敗した。アイガモの骨格標本作りにも挑戦した。3年間アイガモの飼育

に取り組み、いのちの誕生の尊さを学んだ。(赤木 安達 宮井)

テーマ：鶏にいろいろな飼料を与えてみた



岡山地鶏に与える飼料としてトウモロコシ区、米区、トウモロコシと米の混合区としたところ、生育は混合区が良かった。肉色は、トウモロコシ区は黄色がかった。米区は白くなっていた。混合区はピンク色だった。肉の食感、味は米区がよ

かった。与える飼料により生育や味もかわることがわかった。また、育てること、食べることからいのちの大切さを学んだ。

(伊庭 小川 澤原 高草 戸高 福島)

テーマ：鶏の産卵率向上計画



鶏にかかるストレスを減らし産卵率の向上させることを目標とした。本校のゲージ飼育を対象区とし、広いスペースの区、尻つきをしないように壁を入れた区、止まり木を入れた区など設けた。

結果、ゲージの広さはストレスに関係し1羽のスペースが広いとストレスが少なく産卵率が良かった。8月に調査から暑さもストレスとなり産卵率が低下することがわかった。(後藤 細川 松田)

テーマ：4つ星子牛に願いを込めて



4つ星子牛の称号を受けられる子牛を作ることを目標に5頭の子牛を飼育した。人工ほ乳や制限ほ乳を毎日続け、ブラッシングや歩行させることに取り組んだ。人工ほ乳をした子牛は、岡山和牛

飼育マニュアルの目安を大きく上回った。これからの出荷で、4つ星子牛の称号を受けられることを期待している。

(廣田 小林 西村 矢尾)

植物や動物と向かい合う中で、いのちの誕生や命あるものの成長していく様を見て大きな感動を覚えたことと思います。また、協力することから強い友情も結ぶことが出来たことでしょう。これまで活動してきたすべてのことが、きっと自分自身の大きな成長になっています。3年生諸君の努力に大きな拍手を送りたいと思います。1・2年生諸君も実りある活動を目指して頑張ろう!